

## 第4回第6期中海自然再生協議会 議事録

日時：平成31年2月16日(土)14:45～16:30

場所：認定NPO法人 自然再生センター(松江市天神町114)

参加者：35名(講演会：36名)

協議会開催に先立ち、高安克己初代協議会会長を演者として、「中海自然再生協議会事始め」と題した協議会設立10周年記念公開講演会が、午後1時半から2時半までの間開催された。この講演会は(一社)中国建設弘済会の支援を受けて行われたもので、参加者数は36名であった。

協議会開催にあたり、午前中に自然再生センターへのヒアリング関連で来られていた環境省自然環境局自然環境計画課江川和隆課長補佐よりご挨拶をいただいた。その後、開催案内の次第に従って、以下のような報告が行われた。

### 1. 協議会全国会議の報告

國井会長より、昨年11月26、27日に開催された麻機遊水地(静岡県)での会議についての参加報告がなされた。中海からは会長の他自然再生センターの小倉事務局長と中浜事務員の計3名が参加したこと、全国から18の法定協議会と協議会設立準備中の5団体が参加したこと、1974年に大水害があった巴川流域で遊水地を含む総合治水計画が立てられ、2004年に県主導で「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」ができたものの、一部に都市公園的な整備がなされたことから利用と保全の両立が難しくなり、市主導により2016年に協議会の名称が「麻機遊水地保全活用推進協議会」に変更され、これまでの目的としての保全から利活用と生物多様性保全の両立を目指す結果としての保全が現在行われているとの報告があった。

### 2. 4つの実施計画の年次報告

全国会議の報告に続いて4つの実施計画の年次報告が行われた。

海草類の回収及びその利用事業については、渡部氏により長期の藻刈りによる生物への影響についてモニタリング調査の結果の報告があり、オゴノリがいつ頃から増えたかについての質問があった。

中海湖岸域の利・活用プロジェクトについては、直接の担当者である前原・小椋・上田氏が米子高専の入試で欠席であったことから、熊谷氏より事業の年次報告が実施された。サイクリングステーション計画、中海周辺の環境調査(微気候調査)、ゴズ釣りマップ・スローフード開発について報告された。

浚渫窪地の環境修復事業については中電の中本氏より、浚渫窪地の概要、窪地の環境修復と小規模実験の概要、環境修復事業の概要、環境修復事業の効果、第1期事業のまとめ、第2期事業における浚渫窪地の環境修復事業について説明があり、2期目の細井沖浚渫窪地へのHiビーズの投入事業は、硫化水素、栄養塩の抑制効果を低下させる新生堆積物の影

響を受けにくい効果的な覆砂方法で本年1月から開始されているとの報告がなされた。

島根大学の桑原氏から、小規模窪地の全面覆砂実験について第一候補の米子空港沖での事業が空港や浚渫されている航路との関連で実施できなくなった場合のため、錦海・穂日島沖を第二候補に選定したいとの提案がなされた。これに関連して、田中氏から第一候補の西風を受けた場合のHiビーズの流出について考慮するようにとのコメントがあり、國井氏から実施計画に書かれていない第二候補になった場合の実施計画変更の手続きについて江川課長補佐への質問があり、変更した計画書を県と環境省に提出すれば、年1回開催の専門家会議の意見を待たずに進めることが可能との回答があり、桑原氏の提案については承認された。

有用二枚貝(サルボウガイ)復活を目指す事業については、國井会長から、今年度は中電から実施者である再生センターへの委託がなされなかったことから報告する内容がないこと、また、熊谷自然再生センター理事長より、今後体制作りを進め、中電の協力を得られる体制とすることが報告された。

### 3. 全体構想の見直しと今後の協議会のあり方について

國井会長より、全体構想が作られて以降、基本方針が2008年と2014年の2度見直されており、今年度中に3回目の見直しがあることから、次期の協議会ではこれら見直しをもとに新たな全体構想の作成を行いたいとのこと、そして過去には協議会内に設けられた部会の活動が活発であったことなどを踏まえ、次期協議会では新たに部会を設けて協議会の活性化を図りたいとの提案があり、現委員には次期も委員を継続してほしい旨述べられた。

### 4. 環境活動の「見える化」ツールアンケートの実施

環境省の委託で再生センターが行っている「自然再生協議会を対象とした社会学的評価試行業務」について國井会長より説明があり、協議会参加者全員にその場でチェックシートの記入をお願いし実施した。

### 5. コメント

閉会にあたり、環境省の江川氏より実施計画の変更について、協議会内の正当な手続きで変更されれば問題ないとのコメントをいただいた。また、國井会長から協議会の運営費としての募金をお願いされ閉会となった。

以上  
(議事録案作成 神谷)